

公表	事業所における自己評価総括表
----	----------------

○事業所名	NPO法人mazel.be COCO.Rグラス			
○保護者評価実施期間	R7年1月15日 ～ R7年1月31日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	23名	(回答者数)	18名
○従業者評価実施期間	R7年1月15日 ～ R7年1月31日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8名	(回答者数)	8名
○事業者向け自己評価表作成日	R7年2月15日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・様々な活動プログラムを設定している。	・創作活動や感覚遊び、ゲーム活動や音楽活動など、毎日活動を設定し取り組んでいる。長期休みや土曜日など一日利用の際には、昼食会やおやつ作りの他、講師を招いてキッドビクスを行ったり、他事業所や地域施設を積極的に利用した外出活動を計画し実施している。	・新しいゲームを検討したり様々な創作活動を行いながら、今後も新規性のある活動を考えていく。
2	・障がいや本人の特性に応じた個別支援を行っている。	・相談支援ファイルを借用し、本人の特性やこれまでの支援経過の理解に努めている。 ・障がいや特性に応じて環境づくりを行い、必要に応じて個別にスケジュールを設定するなど個別支援を行っている。 ・個別の余暇サポートのマニュアルを作成し、スタッフ間で支援方法を共有しながら支援にあたり、適宜支援方法を見直し本人に合わせた支援を心がけている。	・定期的にアセスメントを行いながら、支援方法を職員間で共有し統一した支援を行う。マニュアルの更新も随時行う。 ・専門性のある支援を行えるように、研修の機会を増やし自己研鑽に努める。
3	・地域施設を活用している。	・外出活動では、他事業所や地域のお店に買い物に行ったり、図書館や体育館、博物館等地域の施設を積極的に活用するようにしている。	・利用者や保護者の意見も取り入れながら、新たに利用できる地域施設や外出先を検討していく。 ・同じ地域施設を何度も利用することで、子どもたちが安心して利用できる場所へとつなげていく。また地域との関わりを深め利用者理解へとつながるような取り組みにする。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・利用者の受け入れ人数に対して、スペースに狭さを感じることもある。	・利用人数が多い日や、天候の関係で外での活動が出来ない時などに狭さを感じる。 ・利用者一人ひとりに十分なスペースが確保できないことでトラブルになったり、落ち着いて活動できないことがある。	・長期休みなどは引き続き隣接の相談支援事業所を利用したり、パーティションなどで区切りながらスペースを個別に確保し、落ち着ける環境を設定していく。 ・各部屋の利用の仕方を再検討し、スペースを有効に活用できるようにしていく。
2			
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名COCO.R グラス		公表日 R7年3月14日						
		利用児童数 R7年 1 月 2 3 名					回収数 16家族	
		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	11	3		2	・もう少し広ければいいなと思います。	利用者数が多い時は狭く感じる場合があります。長期休みなどは隣接の相談支援事業所を使用したり、活動場所を分ける等工夫しています。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	11	3		2		利用者数に応じ、国・県の基準に1～2人（利用者の状況によっては3人）のスタッフを加配しています。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	14			2		玄関にスロープを設置し、室内は段差のない作りになっています。和室にはドアを設置し静かに過ごす部屋を確保しています。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	14	1		1		利用者の特性や活動内容に応じてパーテーションで空間を区切ったり、活動場所を分ける等しています。
適切な支援の提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	15			1		アセスメントの共有を行いながら、利用者の理解に努めています。また、施設内外の研修を受け、障がいの理解や支援方法について学び、支援にあたっています。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	16					
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	16					
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	16					
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	16					
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	15			1		スタッフ間で意見を出し合い、様々な活動を行っています。外出活動では地域施設を活用した新しい活動にも取り組みました。
保護者への説明等	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	12		2	2		江釣子学童保育所の夏祭りやクリスマス会への参加、キッドピクスへ招待し一緒に活動するなど、交流の機会が増えていきます。
	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	16					
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	16					
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	12	1		3		懇親会を開催し、家庭での困りごと等の相談、情報共有を行いました。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	16				・学校での出来事とかを共有していただいています。	
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	13	1		2		年2回面談の機会を設けています。その他随時相談に対応しますので、お声がけいただきたいと思います。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	15			1		今後とも家族、利用者に寄り添った支援ができるよう努めていきたいと思っています。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	11	2		3		今年度は親子レクと懇親会を開催しました。親子レクはご家族で参加していただき、ご家族同士の交流の機会となりました。今後も日程を検討、調整しながら交流の機会を増やしていきたいと思っています。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	13	1		2		相談や意見をいただいた際は速やかに対応し、個別支援計画や支援対応マニュアルに反映させ、スタッフで情報共有し適切な支援に努めています。

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	16					
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	15			1		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	16					SNS等への写真や氏名の掲載については保護者の同意を得て行っています。その他個人情報の取り扱いには十分注意しています。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	15			1		書面やコドモンで各ご家庭に周知させていただきました。事業所内でも訓練を実施しました。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	15			1		火災・地震を想定した避難訓練を実施し、SNSで様子をお知らせしました。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	15			1		安全計画を周知しました。また、個別支援計画に安全確保のための支援方法や対応について記載し同意を得ています。今後も事故や怪我がないように安全確保に努めていきます。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	11	3		2		事故等が発生した際には速やかに保護者へ連絡、状況を説明するように努めています。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	13	1		2		今後も安心して通所していただけるような環境づくりに努めていきます。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	12	2		2		今年度は子どもたちの意見を聴きながら新しい活動にも挑戦しました。今後も楽しい居場所作りに努めていきます。
	29	事業所の支援に満足していますか。	16				・とても話しやすく職員の方に感謝しています。	今後も情報共有を行い共通理解を図りながら支援を行っていきますので、よろしく願いいたします。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日				
COCO.R グラス		R7年3月14日				
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	4	4	・利用人数が多い時はスペースが狭いと感じることがあるが、部屋割りをして活動場所を分けている。長期休み中は、学習時間に相談支援事業所を使用するなど工夫して支援を行っている。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	7	1	・支援度が高い利用者さんや、イレギュラーなことが起きた際の対応時に職員の不足を感じることがあるが、配置数は適切またはそれ以上のスタッフを配置して安全なデイサービス心をかけている。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	8	0	・パーテーション等使用し、個別活動がいつでもできるようにしている。静かな部屋も用意している。 ・全体でのスケジュールの他に、必要に応じて個別のスケジュールを用意し見通しを持てるよう配慮している。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	8	0	・扉を付けた部屋を設けて、宿題や活動に集中して取り組める静かな空間を用意している。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	8	0	・個別で活動するスペースを作り、自由に使用し落ち着ける環境を用意している。必要に応じて個別に専用のスペースも準備している。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	8	0	・常勤が中心となって行っているが、必要時にはパートスタッフにも参加してもらっている。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8	0	・アンケート調査でいただいた意見を業務改善につなげている。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8	0	・出た意見については常時話し合いを行い業務改善につなげるようにしている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	0	8	・第三者による外部評価は受けていない。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	8	0	・外部研修に参加し、参加したスタッフの研修報告を通して学ぶこともたくさんある。 ・事業所内研修も年間計画を立てて行っており、今年度は法人内の他事業所も見学した。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	8	0		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	8	0	・相談支援ファイルの借用、保護者面談や引継ぎ時等に聞き取りを行い、計画を作成している。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	8	0	・支援に関わる職員で検討し作成している。作成後は全職員で内容を共有し共通理解を行っている。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	8	0	・ミーティングで支援方法を全職員で共有している。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	8	0	・事業所独自のアセスメントシートを作成し使用している。アセスメントシートは適宜改善を図っている。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	8	0	・全項目について具体的な支援内容、支援方法を設定している。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	8	0	・事業所ミーティングで話し合い立案している。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	8	0	・ミーティングで話し合い、色々なアイデアを出し合いながら新規性のある活動を考えている。 ・今年度はカラオケ外出や鬼の館見学、他地域施設を積極的に利用し、外出活動のレパトリーを増やすことができた。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	8	0	・個別と集団の観点に立ち計画を作成している。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	8	0	・支援開始前の打ち合わせやリーダーからの指示等で支援の内容や役割分担が明確になっている。	

	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	3	5	・支援終了後は時間が確保できないため、翌日の支援開始前のミーティングで必要な振り返りを行っている。時間差出勤もあるため、事務室のホワイトボードに書き込み情報共有している。 ・支援前には各自、前日の個別記録に目を通すようにしている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	8	0	・支援を担当した職員が記録をし、定期的に個別支援担当職員が記録をまとめ、支援の検証・改善につなげている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	8	0	・定期的にミーティングで見直しを行い、意見交換をし計画の見直しの必要性を判断している。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「４つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	8	0	・自立支援と日常生活の充実のための活動、創作活動、地域交流の機会の提供、余暇の提供を組み合わせで支援している。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	8	0	・活動の写真カードの設置や選択性のある活動等、自己選択できる場面を活動の中に取り入れている。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	8	0	・担当者が参加している。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	8	0	・協力医療機関の協定を締結している。医療についての情報共有のための会議にも参加している。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	8	0	・年間の行事予定表、毎月の下校時刻表をいただき確認している。学校の迎え時に情報共有を行っている。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	8	0	・保護者の同意のもと、園や児童発達支援事業所を見学し情報共有を行っている。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	8	0	・他の事業所に進む場合は保護者の同意を得て支援内容の引継ぎを行っている。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	8	0	・研修を受ける機会はなかったが、必要時には児童発達支援センターの見学に行き情報共有を行った。今後も必要に応じて連携していく。	・難しいケースについて、必要に応じてスーパーバイズを依頼していく。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	8	0	・江釣子学童保育所の児童を招いてキッドピクスを行ったり、クリスマス会などの季節行事にも招待していただき交流の機会が増えている。	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	8	0	・こども支援部会および事業所部会のメンバーとして参加している。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	8	0	・保護者面談や送迎時に家庭や事業所での様子を情報共有している。	
保護者への説明等	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	8	0	・面談時や懇親会の場で概要をお伝えすることがあった。研修等についての情報は玄関にポスターやチラシを掲示した。	・今後はSNSでも情報提供を行っていく。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	8	0	・利用契約時に説明を行っている。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	8	0	・面談や引継ぎの際に保護者からお話を伺い意向の確認を行っている。 ・こどもの嗜好や意向の把握に努めながら、活動を設定している。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	8	0	・保護者へ支援内容の説明を行い署名をいただいている。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	8	0	・随時相談に対応している。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	8	0	・親子レクを開催し、保護者やきょうだい同士で交流する機会を設けた。親子レク後は懇親会も開催し、保護者間で情報共有や意見を交換する場を持つことができた。	・開催の回数が少ないので、今後は交流の機会を増やせるよう検討していく。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	8	0	・問い合わせや意見があった際には速やかに対応し、スタッフ間で情報共有を行ない再発防止や業務改善に努めている。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	8	0	・インスタで日々の活動の様子を発信している。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	8	0	・SNS等の写真や氏名の掲載は承諾書により保護者から同意を得て行っている。その他個人情報には十分注意している。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	8	0	・重要な引継ぎ事項はメモで渡す等、内容やご家族の状況によって伝え方を工夫している。	

	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	8	0	・地域住民を招待する機会はなかったが、地域施設を積極的に利用している。 ・高校生ボランティアの受け入れを行った。	・秋まつりを開催しなかったことで地域住民を招待する機会はなくなったが、今後も地域施設を積極的に利用しながら地域と交流し、地域に開かれた事業運営を目指していく。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	8	0	・書面やコドモンで家族に周知している。 ・スタッフ間で定期的に訓練を実施している。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	8	0	・定期的に避難訓練など必要な訓練を実施している。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	8	0	・服薬は変更があった都度お知らせしてもらっている。てんかん発作についても対応法を確認し共有している。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	8	0	・ご家族に確認しながら対応している。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	8	0	・安全計画を作成し、必要な研修や訓練を実施している。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	8	0	・安全計画や非常災害時の動きについて、家族へ周知している。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	8	0	・再発防止に向けて事業所内で共有し話し合いを行っている。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	8	0	・定期的に研修や会議を行っている。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	8	0	・事業所内ミーティングで対応方法を確認し、身体拘束等が必要と判断した場合は保護者に説明し、了承を得たうえで放課後等デイサービス計画に記載している。	

公表	事業所における自己評価総括表
----	----------------

○事業所名	NPO法人mazel.be COCO.Rすてっぷ					
○保護者評価実施期間	R7年 1月 15日 ～ R7年 1月 31日					
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	23名		(回答者数)	21名	
○従業者評価実施期間	R7年 1月 15日 ～ R7年 1月 31日					
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8名		(回答者数)	8名	
○事業者向け自己評価表作成日	R7年 2月 14日					

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	地域活動に力を入れている。	平日はごみ拾いや近隣の高齢者施設の窓ふき、創作のプレゼントなどを通して交流を図っている。 長期休みは市内の高校生や専門学生とモルック交流会をしたり、企業見学や他事業所見学、地域資源を活用した外出などを取り入れている。	・企業見学はまた新たな見学先を開拓していく。 ・つながりができた企業とさらにつながりを深めていく。 （例えば、見学先への買い物や体験など。）
2	支援方法がスタッフ間で共有され、統一されている。	支援計画などはスタッフでミーティングを行いながら作成し、支援目標、支援方法などを共有している。必要に応じ、支援方法をマニュアル化し、どのスタッフでも支援できるように工夫している。 また、モニタリングを行い、支援方法を見直した際も確実に支援方法を共有している。	・今後もマニュアル化された支援を共有するため、定期的なミーティングの回数を増やし、開催していく。
3	障害や本人の特性に応じた個別支援をしている。	特性に応じ、環境やスケジュール等の支援ツールを個別化している。	・個別に応じて、定期的なアセスメントを行う。 ・より専門性のある支援をするため、スタッフは研修などの機会を増やし、自己研鑽に努める。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	平日の活動の様子や非常時のマニュアルや訓練の様子など、情報の発信力が弱い。	平日の活動の様子や非常時のマニュアルや訓練の様子など、家族に周知されていない。（アンケート結果より）	インスタやコドモンで、活動の様子や非常時の訓練の様子等を配信していく。 また、インスタがより多くの方（特に家族）に見てもらえるよう、QRコードの宣伝もしていく。
2			
3			

	公表	保護者等からの事業所評価の集計結果
--	----	-------------------

事業所名		COCO.R すてっぷ		公表日		R7年 3月 14日			
				利用児童数		R7年1月 23名		回収数 21家族	
		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応	
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	19	1		1		基準以上のスペースを設けています。	
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	16	3		2		スタッフ数は基準値通り配置しています。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	20	1				利用者の特性に合わせて、個室や活動エリアを明確にしています。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	21				すっきりしていて良い。		
適切な 支援の 提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	21						
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	21						
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	21						
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	20			1	支援内容が具体的で、どのスタッフの方でも実行可能なところが良いと思います。	引き続きガイドラインに沿った支援計画の作成を心がけます。 またご家族から頂いたご意見を強みに、今まで以上に具体的な支援内容と統一した支援を心がけていきます。	
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	21						
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	16	5				長期休みは、企業見学や事業所見学、モルック交流会などを取り入れ地域活動にも力を入れました。	
保護者 への 説明等	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	14	4		3		長期休みに市内の高校生や専門学生とモルック交流会をしました。	
	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	21						
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	20	1					
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	16	2		3		研修の案内については、事業所への掲示や案内の配布をしました。今後はコドモンでも配信していきます。	
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	20	1					
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	21				地域に根差した事業所であり、子供のことはもちろん、学校の事、北上市の事をわかった上での確かな助言をいただけるので助かっています。	引き続き他機関との連携や他機関の状況を把握しながら、助言ができるよう努めていきます。	
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	21				子供と親に対して味方でいてくださる心強い存在だと思います。	引き続きご家族、利用者に寄り添いながら支援していきます。	
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	16	4	1		きょうだい支援については…？	今年度は、「親子レク」という形で開催しました。保護者やきょうだいを交えて吹奏楽の演奏と一緒に鑑賞したり、親子レクレーションを通して交流の機会を設けました。 その他、何かあれば随時ご相談ください。	

	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	21					
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	21					
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	20	1				
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	20			1		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	17	3		1		書面やコドモンで各ご家庭に周知させていただきました。また、スタッフ間で定期的に訓練をしました。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	19			2		
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	19	1		1		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	19			2	少しのトラブルでも誠実にお伝えくださるので安心できます。	
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	21					
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	20	1			いつも楽しみにしている。	
	29	事業所の支援に満足していますか。	21				・感謝しています。ありがとうございます。 ・北上市になくてはならない事業所だと思います。質が高いと思います。まじめだと思います。これからも応援しています。	ありがとうございます。引き続きご家族の協力を得ながら支援していきます。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日				
COCO.R すてっぴ		R7年 3月 14日				
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	8	0		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	7	0		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	8	0	・パーティションで部屋を区切って使っている。個別の部屋がある。 ・個別に合わせて個室や構造化された環境になっている。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	8	0	・北はリビングとホールで活動によって使い分けている。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7	1	・南の個室を使用するなど、可能な限り使用できる環境になっている。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	8	0	・必要に応じて、または定期的にできている。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8	0		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	1	・打ち合わせ以外でも困っていることや改善したいことを話し合えている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	5	3	第三者外部評価は受けていない。	第三者外部評価は受けていないが、引き続き保護者や利用者の声、スタッフの意見を業務改善につなげていく。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	8	0	・必要な研修を受講させてもらっている。定期的に法人内で研修があり勉強できている。 ・法人内の事業所見学に行かせてもらった。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	8	0		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	8	0	・面談などで家庭の様子を聞いたり卒業後の希望を聴き取り、計画を作成している。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	8	0	・支援計画のミーティングをし、意見を出し合って決めている。 ・スタッフ全員で意見を出せているので共通理解ができており、最善だと思う。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	8	0	・担当が打ち合わせやミーティングで支援方法を伝えることができている。 ・定期的にモニタリングをしている。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7	0	・現在は事業所で作成したアセスメントシートを活用している。また、自閉症スペクトラム特性シートも活用している。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	8	0	・支援に関わるスタッフで具体的な支援内容を考えて設定している。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	8	0		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	8	0	・長期休みは、企業見学や事業所見学、モルック交流会などを取り入れ地域活動にも力を入れている。 ・ニュースポーツのレンタルや、新しい集団ゲームを作成するなど工夫している。 ・地域交流、長寿園訪問などとても良い。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	8	0		

	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	8	0		
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6	2	・翌日に支援の振り返りができている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	8	0	・記録のポイントを見ながら記録できている。 ・スタッフ間で必要な記録について共有している。記録のポイントを活用している。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	8	0		
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「４つの基本活動」を複数組み合わせる支援を行っているか。	8	0		
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	8	0	・個別に合った選択方法を考えて支援している。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	8	0		
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5	2	・送迎時学校の様子を聞くなど情報交換と共有ができている。 ・協力医療機関を決めている。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	8	0		
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	5	1	・COCO.Rグラスと移行支援会議を行っている。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	8	0	・必要に応じて行っている。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	3	3		・今年度、児童発達支援センターと連携する機会は無かった。必要に応じて連携していく。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	7	1	・長期休みに高校生や専門学生とモルック交流をしている。	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	6	2	・管理者が定期的に参加している。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	8	0		
保護者への説明等	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5	2	・家族参加できる研修についての情報提供は掲示やチラシなどで数回行った。	・今後はSNSでも情報提供していく。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	8	0		
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	8	0	・家族面談の機会を設けている。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	8	0		
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	8	0	・進路相談など、相談員も交えて行うこともあった。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	8	0	・親子レクを開催し、保護者やきょうだい同士が交流できる場を設けている。	
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	8	0		
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	8	0	・インスタで、より細やかな情報やタイムリーな情報を保護者に発信できるようになった。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	8	0		

	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	8	0		
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	6	2	・ゴミ拾いや近隣の老人ホームに清掃活動や交流、企業見学などを通じて地域交流ができている。	・秋まつりではなく、親子レクになり、地域住民を招待する機会はなくなったが、左記のように清掃や交流活動を継続していく。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	8	0	・書面やコドモンで家族に周知している。 ・スタッフ間で定期的に訓練をしている。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	8	0	・定期的に避難訓練や話し合いを行っている。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	8	0	・服薬は変更の都度知らせてもらっている。	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6	2	・家族を通して確認し、対応している。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	8	0		
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	8	0		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	8	0	・早期に話し合い、再発防止に努めている。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	8	0	・定期的に振り返りながら話し合いができている。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	8	0		